ApeosPlus Cards R Connector ユーザーガイド

2026年10月26日

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

FUJIFILM
Value from Innovation

はじめに

弊社の複合機を利用してApeosPlus Cards R（以下、Cards R）に名刺画像を登録する場合、複合機に搭載された「ApeosPlus Cards R Connector」（以下、Cards R Connector）をご利用ください。

このユーザーガイドではCards R Connectorのご利用方法について説明します。

このユーザーガイドの内容は、お使いの複合機の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。複合機の基本的な知識や操作方法については、複合機のマニュアルをご覧ください。

⚠重要な注意制限事項

名刺 原稿送り装置では**91 mm x 55 mm**の標準サイズの名刺のみをサポートします。それ以外のサイズについて、サイズが小さい名刺の場合、画像が斜めになってしまうことがあります。サイズが大きな名刺の場合、画像が切れてしまうことがありますのでご注意ください。

また、**プラスチック、金属、厚紙**の名刺も対応していません。

対応していない名刺は原稿ガラスでのスキャンやCards Rモバイルアプリでの撮影をご利用ください。

ご注意
① このユーザーガイドの編集、変更または無断で転載はしないでください。
② このユーザーガイドに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
③ このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。

FUJIFILM、およびFUJIFILMロゴは富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
社名、または商品名などは、各社の登録商標または商標です。

対応機種

本書で説明するCards R Connector対応機種

機種名	ADFオプション
Apeos C7072 / C6572 / C5572 / C4572 / C3572 / C2572 注1	対応

注記 スキャナーキットが装着されている必要があります。

注1 自動両面原稿送り装置C3-PC搭載モデルである必要があります。詳細は複合機の担当営業までお尋ねください。

無料トライアルのご案内

Cards R Connectorの無料トライアル画面で２次元コードを読み取ると、無料トライアル申し込み画面にアクセスできます。

目次

■複合機でCards R Connectorを利用可能にする

複合機でCards R Connectorを利用可能にする

名刺サイズ対応原稿送り装置を利用可能にする

■ Cards R Connectorの初回設定を行う

初回設定ーCards R組織との関連付けを行う

初回設定ー複合機のユーザーIDとCards Rユーザーを関連付ける

■ Cards R Connectorから名刺を登録する

名刺登録ーCards R Connectorを起動する（複合機の認証方式が「認証しない」の場合）

名刺登録ーCards R Connectorを起動する（複合機の認証方式が「認証する」の場合）

名刺登録ー名刺をセットする（ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合）

名刺登録ー名刺をセットする（名刺サイズ対応原稿送り装置非対応の場合）

名刺登録ー名刺の所有者を選択する（１）

名刺登録ー名刺の所有者を選択する（２）

名刺登録ーオプション機能を設定する（１）

名刺登録ーオプション機能を設定する（２）

名刺登録ースキャンを実行する（ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合）

名刺登録ースキャンを実行する（名刺サイズ対応原稿送り装置非対応の場合）

名刺登録ースキャン画面遷移（名刺のセット位置「原稿送り装置」 ）

名刺登録ースキャン画面遷移（名刺のセット位置「原稿ガラス」名刺うら面のスキャン「する」 ）

名刺登録ースキャン画面遷移（名刺のセット位置「原稿ガラス」名刺うら面のスキャン「しない」 ）

その他の機能

■注意制限事項

Cards RでSAML認証・2段階認証をご利用の場合の注意制限事項

本サービスに関するお問い合わせは、Cards R公式サイト「お問合せフォーム」からご連絡ください。

複合機でCards R Connectorを利用可能にする

複合機でCards R Connectorを利用可能にする

複合機でCards R Connectorを利用するには、複合機がインターネット上のCards Rサーバーと通信できる必要があります。

次のプロトコルが有効となるよう、複合機にIPアドレス、Proxyサーバーなどの設定を行ってください。

・インターネットプロトコル　ipv4

・通信プロトコル　https

複合機がインターネットに接続できない場合、Cards R Connector起動時に次のエラーが表示されます。

⚠注意

Cards Rのヘルプデスクでは複合機の操作・設定方法についてはご案内できません。

名刺サイズ対応原稿送り装置を利用可能にする

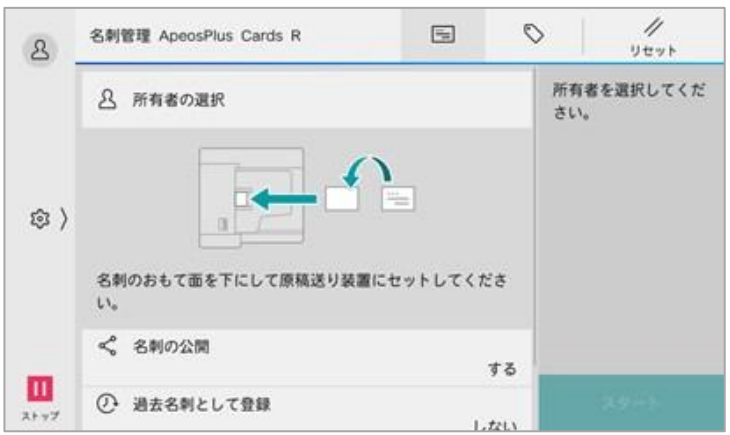
名刺サイズ対応原稿送り装置をご利用いただくには「ApeosPlus Cards R Connector ADFオプション」の契約が必要となります。

ご利用になる複合機の台数に応じて、あらかじめご契約いただけますようお願いします。

ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションとは名刺サイズ対応原稿送り装置から直接Cards Rサーバーに名刺画像が登録可能となる**ソフトウェアオプション**です。

ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションは初回設定でCards R組織との関連付けに成功すると有効になります。

ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合、Cards R Connectorを起動すると名刺のセット位置が**「原稿送り装置」**となります。



ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効

ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが無効

⚠名刺サイズ対応原稿送り装置を搭載した複合機を複数所有している場合

Cards R組織との関連付けを実施した順にApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効化されます。

Cards R Connectorの初回設定を行う

初回設定ーCards R組織との関連付けを行う

▼初めてCards R Connectorを起動した場合

Cards R Connectorとご利用になるCards R組織の関連付けを行います。

Cards Rユーザーアカウントとパスワードを入力してください。

ログイン完了後は認証情報が保存され次回以降のCards R Connector起動時にはログイン画面が表示されません。

なお、この作業はCards Rユーザーの方であれば誰でも可能ですが、管理者の方が行うことをお勧めします。

⚠初回起動以外でCards R組織との関連付け画面が表示される場合

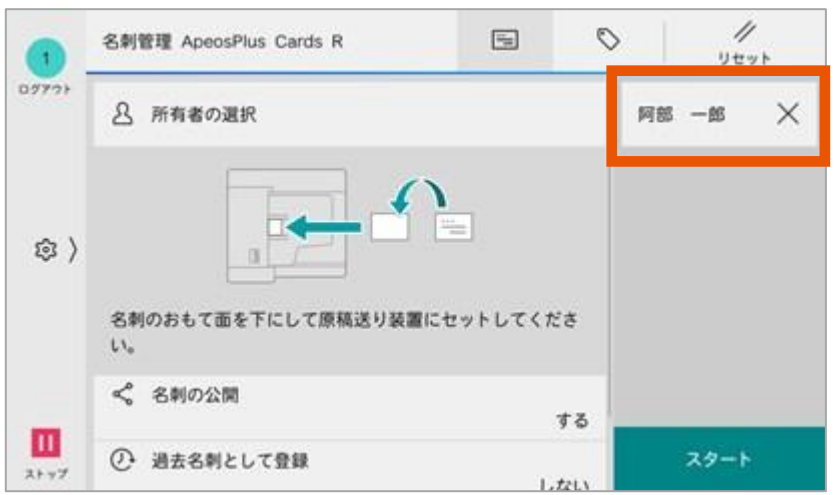
以下のケースでは保存された認証情報がクリアされます。再度Cards R組織との関連付けを実施してください。

・管理メニューで「契約組織との関連付けを解除」を実行した
・関連付けしたユーザーを組織から除外した
・関連付けしたユーザーのプランを解除した
・関連付けしたユーザーのパスワードを変更した
・関連付けしたユーザーのセッションを削除した

初回設定ー複合機のユーザーIDとCards Rユーザーを関連付ける

▼複合機を認証したユーザーが初めてCards R Connectorを起動した場合（複合機の認証方式が「認証する」）

複合機のユーザーIDとCards Rユーザーの関連付けを行うために、**Cards Rのユーザーアカウント**を入力してください。



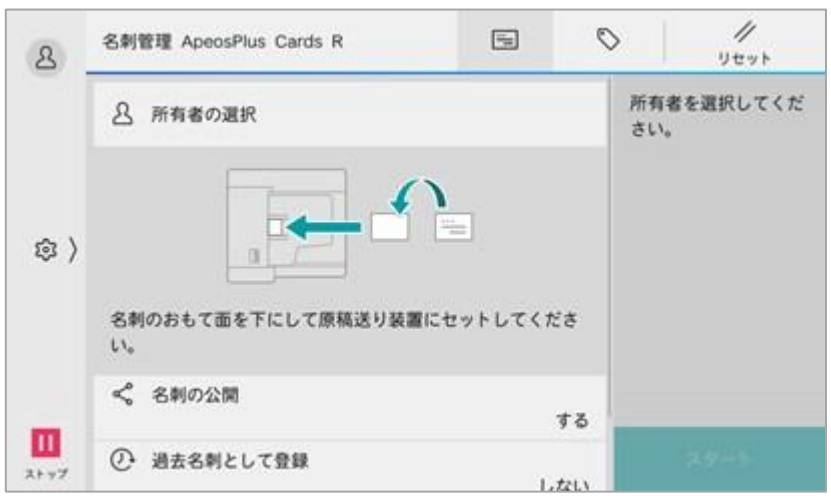
関連付けが完了すると複合機のユーザーIDと関連付いたCards Rユーザーが所有者に設定されます。

Cards R Connectorから名刺を登録する

名刺登録ーCards R Connectorを起動する（複合機の認証方式が「認証しない」の場合）

▼複合機の認証方式が「認証しない」の場合

複合機本体の認証方式が「認証しない」の場合、操作パネルのメニュー画面で「名刺管理 Cards R」アイコンをタップするとCards R Connectorが起動します。



初期設定(Cards R組織との関連付けを行う)が完了しているとCards R Connectorのホーム画面が表示されます。

所有者を選択すると[スタート]が有効になります。

名刺登録ーCards R Connectorを起動する（複合機の認証方式が「認証する」の場合）

▼複合機の認証方式が「認証する」の場合

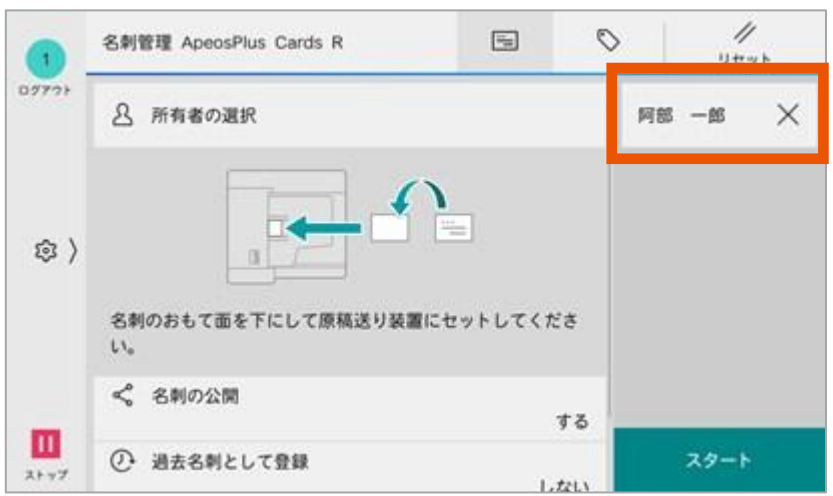
複合機本体の認証方式が「認証する」の場合、操作パネルのメニュー画面で「名刺管理 Cards R」アイコンをタップすると複合機本体の認証画面が表示されます。

認証画面で**複合機本体のユーザーID/パスワード**を入力してください。

認証に成功するとCards R Connectorが起動します。

ⓘ 認証にICカードを利用している場合

複合機本体のユーザーIDの入力は不要です。（ICカードを所定の場所にかざしてください。）



初回設定(複合機のユーザーIDとCards Rユーザーを関連付ける)が完了しているとCards R Connectorのホーム画面が表示されます。

複合機のユーザーIDと関連付いたCards Rユーザーが所有者に設定されます。

名刺登録ー名刺をセットする（ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合）

▼ ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合

ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合はCards R Connector起動時の名刺のセット位置が「原稿送り装置」となります。

原稿送り装置に**名刺のおもて面を下向きにして**名刺をセットします。

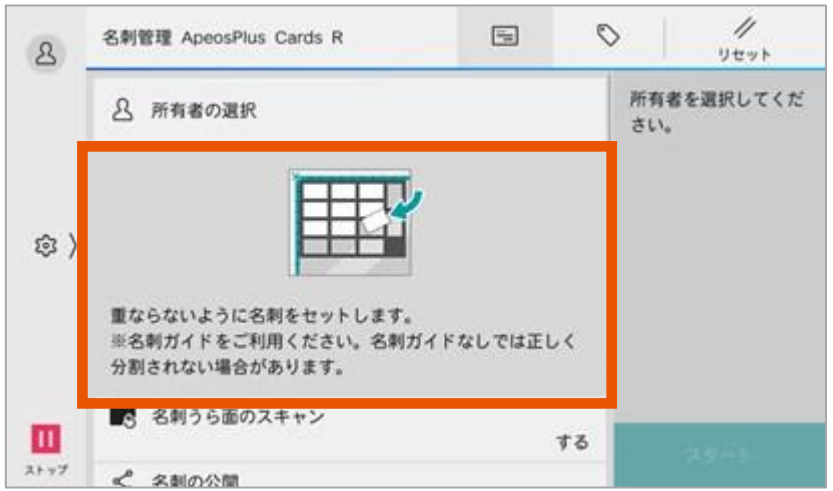
原稿送り装置に一度にセットできる枚数は**100枚**までです。

100枚を超えた場合はエラーとなりスキャンがキャンセルされます。

原稿送り装置にセットできない名刺は原稿ガラスに並べてスキャンします。

名刺のセット位置を「原稿ガラス」に設定し、名刺ガイドを利用して名刺をセットします。

名刺登録ー名刺をセットする（名刺サイズ対応原稿送り装置非対応の場合）



▼ 名刺サイズ対応原稿送り装置非対応の場合

名刺サイズ対応原稿送り装置非対応の場合は名刺ガイドを利用して原稿ガラスに名刺をセットします。

⚠ 注意

・名刺のセット位置が[原稿ガラス]の場合、名刺ガイドをご利用いただかなければ名刺が正しく登録できないことがあります。

名刺ガイドの入手方法はCards Rの担当営業にお尋ねください。

名刺登録ー名刺の所有者を選択する（１）

▼所有者の選択

1. [所有者の選択]をタップします。
2. [すべて] または所属チームを選択します。

[すべて]を選択すると組織の全ユーザーが表示されます。

[チーム]を選択すると選択したチームに所属するユーザーが表示されます。

3. ユーザー一覧から名刺の所有者を選択します。
4. 所有者を選択すると[スタート]が有効になります。

・ユーザー一覧にはプランが割り当て済みのユーザーがメールアドレスの昇順で表示されます。

表示順は変更できません。

・所有者は10名まで設定できます。

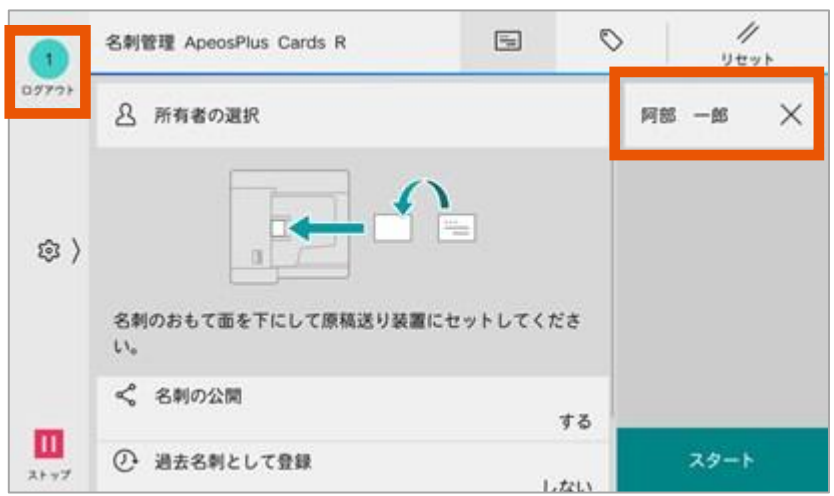
複数所有者設定機能をお使いいただくと名刺登録の際に1回のスキャンで複数の所有者を設定できます。

共有する名刺を登録する際に利用します。

・複数の所有者を設定した場合は先頭の所有者が関連の代表者となります。

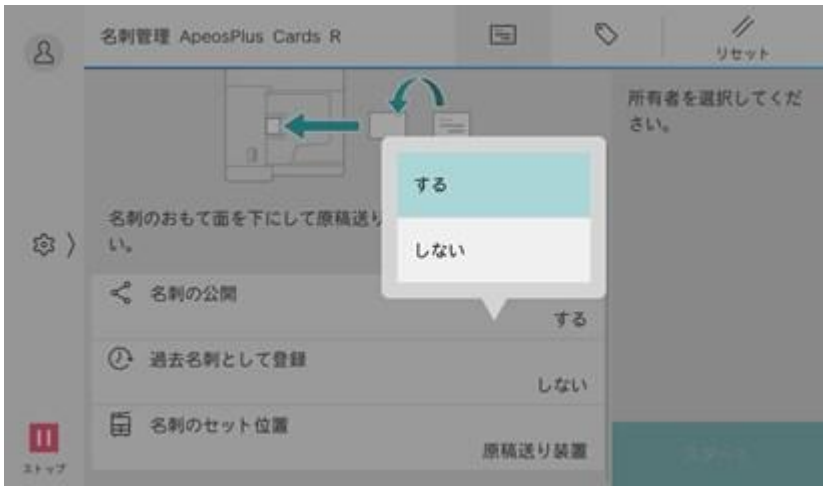
名刺登録ー名刺の所有者を選択する（２）

・ユーザー一覧は99名まで表示されます。
チームまたは[すべて]に所属するユーザーが100名以上の場合には[…]の[検索]から検索して対象ユーザーを選択してください。



・複合機の認証方式が「認証する」の場合は複合機のユーザーIDと紐付くCards Rユーザーアカウントが名刺の所有者となります。
所有者の選択画面で所有者の変更、追加が可能です。

名刺登録ーオプション機能を設定する（１）



▼名刺の公開

名刺登録時の公開設定を設定します。

Cards Rの［システム設定］＞［環境設定］＞［作成時に連絡先を公開］の値によって初期値が決まります。

[する]を選択すると、チームまたは組織で共有可能な連絡先を作成します。

[しない]を選択すると、選択した所有者のみが閲覧可能な連絡先を作成します。

▼過去名刺として登録

主にサービス利用開始時に古い名刺を登録する際に利用します。

[しない]を選択すると、自動名寄せが動作する場合に登録した名刺が最新になります。

[する]を選択すると、自動名寄せが動作する場合に登録した名刺が過去名刺になります。

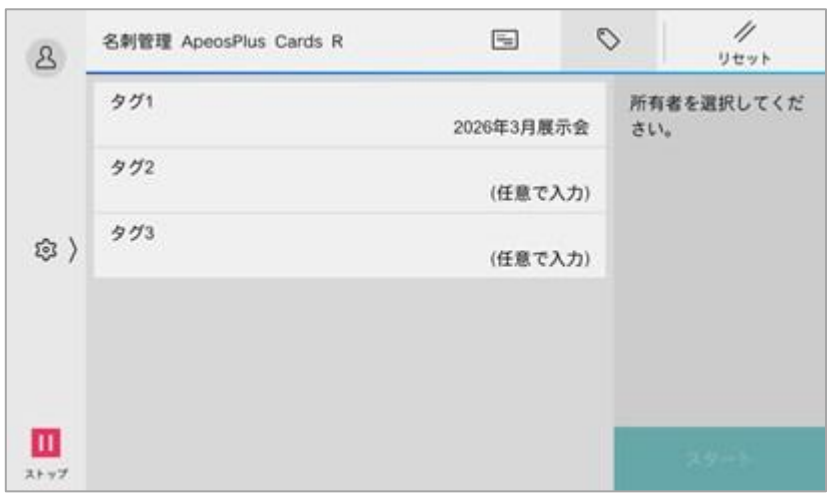
同一人物の連絡先がCards Rに登録されていない場合には新規の連絡先として登録します。

名刺登録ーオプション機能を設定する（２）

▼名刺うら面のスキャン

名刺うら面のスキャン設定を設定します。
名刺のセット位置が「原稿ガラス」の場合に表示されます。

[しない]を選択すると名刺のおもて面だけを登録します。
[する]を選択すると名刺の両面が登録可能になります。



▼タグを設定する

Cards Rで利用する組織タグを３つまで設定することができます。

複合機ではテンポラリのタグ名を利用し、Cards RのWeb画面で編集することをお勧めします。

Cards Rサーバーに登録されていないタグ名を設定すると、名刺登録時に新規組織タグを作成します。

名刺登録ースキャンを実行する（ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合）

▼ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合

名刺サイズ対応原稿送り装置に名刺をセットして[スタート]をタップすると、スキャンを開始しCards Rに名刺の両面を登録します。

⚠注意

・スキャンの途中で継ぎ足しを行うとエラーになる場合があります。

・原稿送り装置の原稿読み取り部が汚れていると、画像に線や帯が入ることがあります。原稿送り装置の読み取り部を清掃してください。

清掃方法については以下をご覧ください。

https://youtu.be/fRVvG-Hcd9g

名刺登録ースキャンを実行する（名刺サイズ対応原稿送り装置非対応の場合）

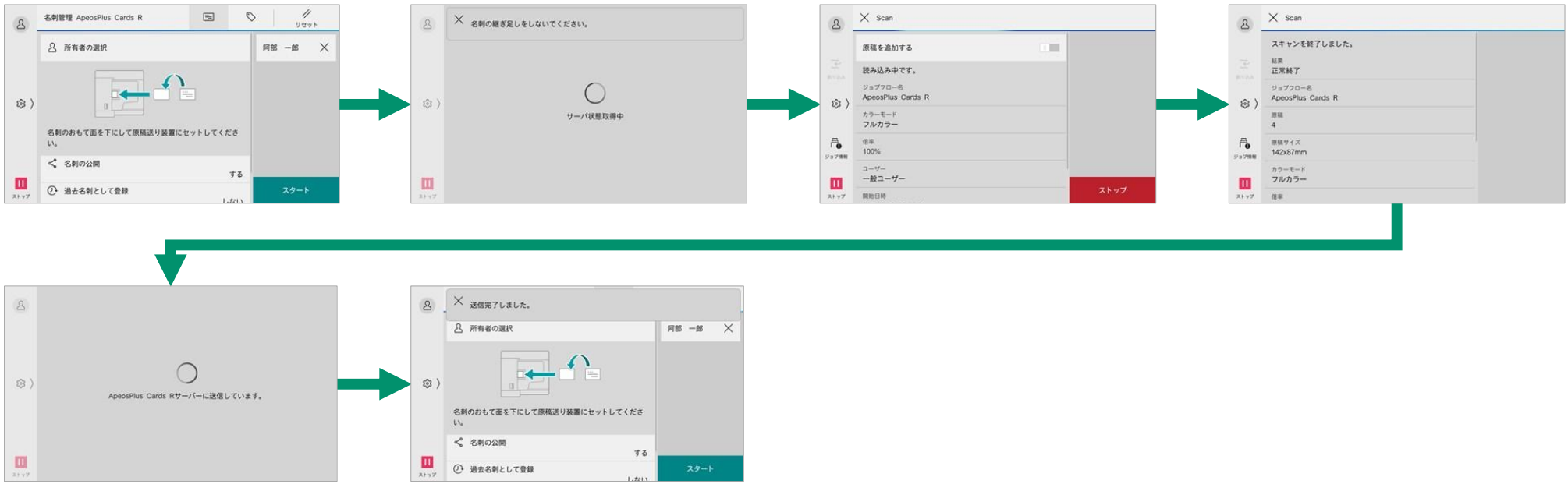
▼名刺サイズ対応原稿送り装置非対応の場合

名刺ガイドを利用して、原稿ガラスに名刺を並べてください。[スタート]をタップすると、名刺のスキャンを開始しCards Rに名刺を登録します。

名刺うら面のスキャン設定が[する]の場合には、おもて面のスキャン完了後、**名刺の位置を変えずに裏返し**、[スキャン(うら)]をタップしてください。おもて面に続きうら面のスキャンを開始しCards Rに名刺を登録します。

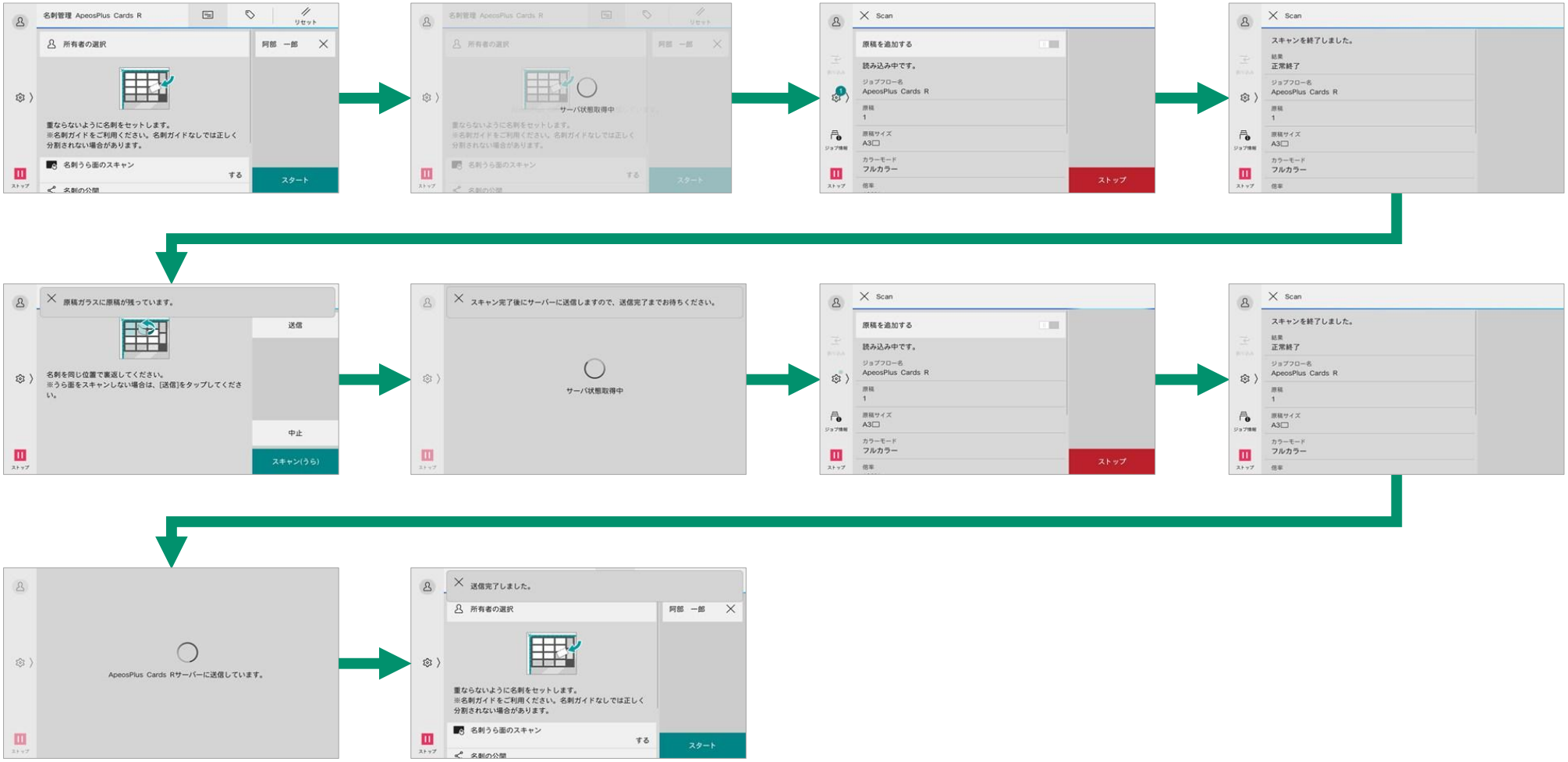
名刺登録ースキャン画面遷移（名刺のセット位置「原稿送り装置」）

名刺スキャンを開始すると、[サーバー情報取得中]> [スキャン実行]> [スキャン終了]>
[Cards Rサーバーへ送信中]> [送信完了]と画面が遷移します。



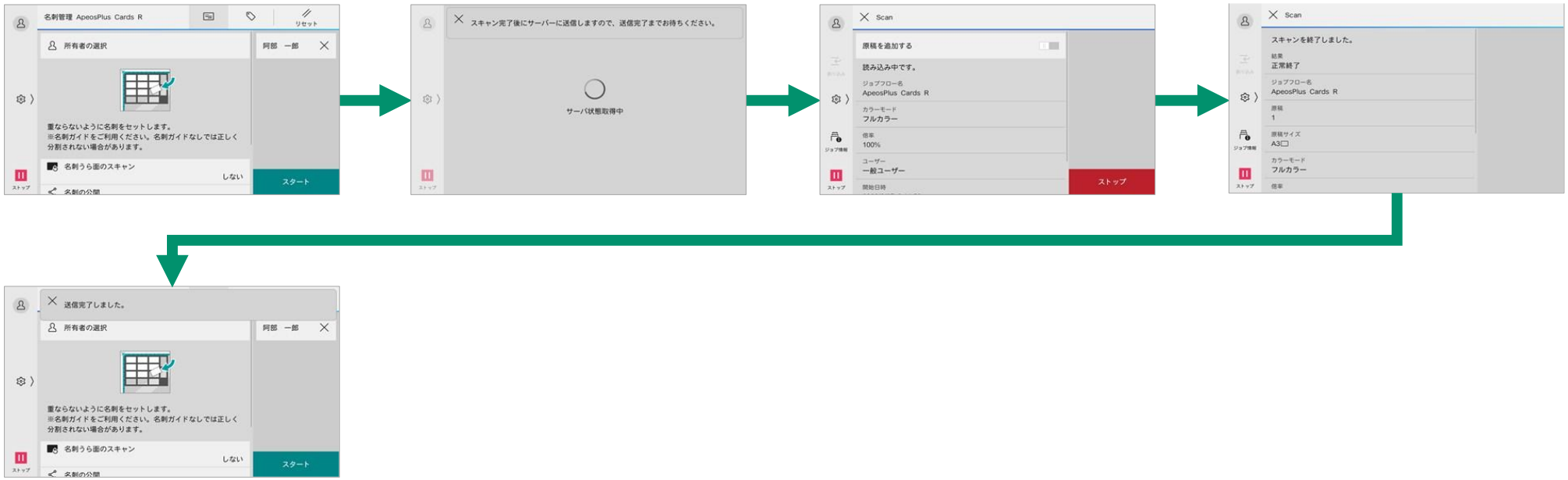
名刺登録ースキャン画面遷移（名刺のセット位置「原稿ガラス」名刺うら面のスキャン「する」 ）

名刺スキャンを開始すると、[サーバー情報取得中]＞[スキャン実行(おもて面)]＞[スキャン終了(おもて面)]＞
うら面スキャン開始＞[サーバー情報取得中]＞[スキャン実行(うら面)]＞[スキャン終了(うら面)]＞
[Cards Rサーバーへ送信中]＞[送信完了]と画面が遷移します。



名刺登録ースキャン画面遷移（名刺のセット位置「原稿ガラス」名刺うら面のスキャン「しない」 ）

名刺スキャンを開始すると、[サーバー情報取得中]> [スキャン実行]> [スキャン終了]> [送信完了]と画面が遷移します。



その他の機能

▼設定画面

設定ボタン（⚙）で設定画面を表示します。

▼管理メニュー

管理メニューを表示します。

▼バージョン情報

バージョン情報を表示します。

▼管理メニュー＞契約組織との関連付けを解除

初期設定で設定したCards R組織との関連付けを解除します。

▼管理メニュー＞サーバーの画像補正

初期状態は[しない]です。複合機で画像補正処理を行いサーバーに名刺画像を送信します。

ApeosPlus Cards R Connector ADFオプションが有効な場合に表示します。

注意制限事項

Cards RでSAML認証・2段階認証をご利用の場合の注意制限事項

SAML認証をご利用の場合

Cards R ConnectorはSAML認証でログインできません。

Cards R Connectorと組織を関連付ける際には、Microsoft Entra IDが管理するユーザーID, パスワードではなく、Cards Rが管理するユーザーID, パスワードを指定してください。

2段階認証をご利用の場合

2段階認証が有効なユーザーはCards R Connectorにログインできません。

Cards R Connectorと組織を関連付ける際には、2段階認証を無効にした状態で実施してください。

改訂履歴

更新日	バージョン	内容
2021/4/1	v1.00	初版発行
2023/2/10	V1.01	対応機種情報を更新
2023/5/25	V1.02	対応機種情報を更新
2024/10/1	V1.03	対応機種情報を更新
2025/10/1	V1.04	対応機種情報を更新、Cards R Connector 3.1.3に対応
2026/10/26	V1.05	対応機種情報を更新、Cards R Connector 3.2.2に対応
2026/10/26	V1.06	対応機種情報を更新、Cards R Connector 3.3.1に対応

FUJIFILM

Value from Innovation